



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2014.3.20 Vol. **139**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 卒業



ACCREDITED
2007. 4~2014. 3

目次

平成25年度 学位記授与式 学長式辞……	1
平成25年度 学位記授与式 理事長挨拶 ……	2
学生表彰 ……	3

強く,やさしく,しなやかに, 未知の世界に挑戦!



平成25年度 学位記授与式 学長式辞

福山大学 学長 松田 文子

皆さん、ご卒業おめでとうございます。在学中にはたくさん
のことを学び、経験し、多くの人間関係を築かれたことと思います。
それらを糧として、社会に出た皆さんが大きく花開かれること
を、ここから期待しています。そして、ご臨席いただいております
ご家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。ご家族の皆
様の長きにわたる物心両面でのご支援にここから感謝申し上げ
ます。

さて、皆さんがこれから出て行く社会はこれまで先進諸国が経
験したことのない、しかし、これから多くの先進諸国が遅かれ早か
れ似たような状況に陥るとされる未知の世界、すなわち、技術
革新とグローバル化の一方で少子高齢化と人口減となる社会で
す。3年前に、アメリカのデューク大学教授のキャッシー・デビッ
ドソンが「この秋小学校に入学する子どもたちの65%は、大学
を卒業するとき、現在存在していない仕事に就いているだろう。」
と述べています。ITやICTによる世の中の急激な変化を背景と
した見解です。皆さんが小学校に入学した約16年前を振り返り
思い出してみれば、情報・通信、サービス・介護等の職種を中心
に、いくつか新しい仕事が生まれてきていることに気づくはずで
す。そういう新しい仕事に、これから挑戦する人もこの中にいるで
しょうね。パイオニアです。このような変化は、今後更に加速する
でしょう。加えて、私たちは、先進諸国で最初に「少子超高齢化社
会」という未知の世界に入っていきます。このような時代にあつ
て、皆さんは今後どのように生きていくべきなのでしょう。

近年の急激な少子化に伴い、労働力人口は平成9年の6,80
0万人台をピークに、現在6,500万人台まで減少し、今後15
年間で更に800万人も減るだろうと予測されています。15年
後という、皆さんはそれぞれの組織や地域で中核となって活躍
していることでしょう。そのとき、日本の労働力人口はピーク時
の8割近くまで減少しているのです。ITやICT機器に任せるこ
とのできることはそちらに任せ、賢いロボットに任せることので
きることはできるだけ任せ、一人ひとりがヒトでないとできない
質の高い働きをする必要があります。多くの若者が大学に進学す
るようになったとはいえ、大学進学率は現在約50%です。皆さん
が、どのように新しい未知の世界に挑戦して、一度や二度の挫折
にめげることなく、強く、やさしく、しなやかに、目の前の試練と一
つ一つ闘いながら、かつ広く未来を視野に入れて未知の世界に挑

戦し続けることができるか、そのことに、私たちの社会の行方が
かかっているといっても過言ではないでしょう。精神的に豊か
で、持続可能な「少子超高齢化社会」構築への挑戦です。

皆さん、大学では何を学びましたか。振り返ってみましょう。
専門的な知識や技能は、もちろん身につけました。情報リテラ
シーのような現代的教養も身につけましたね。それだけでしょう
か。自己管理能力、企画力、コミュニケーション力、プレゼンテー
ション力、リーダーシップ、問題解決力といった汎用力のある力
も身につけましたね。さらに、責任感、粘り強さ、倫理観というよ
うな態度も身につけたことと思います。これらのすべてをフル
に活用し、更に新たに学び、強化し続けて未知の世界に挑戦し、精
神的に豊かな、そして持続可能な社会を作っていく、たとえ小さ
くともその一翼を担うことが本学を卒業した皆さんに課せられ
た使命でしょう。それぞれの場所と部署で核となる人材となり、
その地域を支え、そこから世界に発信し、ローカルにもグローバ
ルにも活躍していただければ期待しています。

また、同時に時代の変化に流されるのではなく人間について、
生きるとすることについて、毅然とした考えを持たなければ一時
のはやりや利害に流されかねません。いまだに終息しない3.11
の東日本大震災と福島第一原発事故は、私たちの常識を大きく揺
さぶりましたが、このような揺さぶりはこれからも様々に形を変
えて、あるいは更に震度を大きくして、皆さんを翻弄し続ける可
能性があります。持続可能な社会を形成していくには、そしてそ
の中で人間らしく生きていくには、社会の一員としての共同体感
覚を持つことが不可欠でしょう。

福山大学の建学以来の教育理念である「学問のみに偏重するの
ではなく、真理を愛し、道理を実践する知行合一の教育によって、
人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」の中で、
今皆さんが大学教育の成果として手にしている自信と希望こそ
を、皆さんの心の軸として堅持し、共同体感覚を失うことなく、持
続可能な未知の世界の形成に向かって、強く、やさしく、しなやか
に、挑戦し続けて下さい。ここから期待しています。

では、皆さんのこれからのご活躍をここから願って、式辞を
終わりとします。

平成26年3月20日



課題を見つけ 解決できる力のある人材に



平成25年度 学位記授与式 理事長挨拶

学校法人 福山大学 理事長

清水 厚實

本日の記念すべき佳き日に、福山大学平成25年度卒業生のための式典が盛大に举行されることになり、心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。また、本日は多くの保証人の皆様にもこの卒業式典にご参加いただき、ありがとうございました。保証人の皆様が大切に大切に育てていただいたお子様が成人式を迎え、こんなに立派な姿で大学を卒業することになり喜びも一入のことと改めて心よりお祝い申し上げます。

この20年はリーマンショックをはじめ、政治の混乱や経済の低迷、そして東日本大震災と続き、まさしく「失われた20年」でありましたが、卒業生は保証人の皆様の温かいご支援とご指導のもと、着々と大きく成長し、立派な社会人となり、これから社会に大きく貢献するものと強い期待を寄せているところであります。

学校法人福山大学は、創立者宮地茂先生の「建学の精神」である「全人教育」即ち「人間の発達可能性を全体として調和的に実現していくことを目指す教育」に従い、一人ひとりの学生を大切に「どの子も育つ育て方一つ」の基本理念に従い、すべての学生に対する教育指導、生活指導に心血を注ぎ、面倒見のよい大学として努力してまいりました。学生のための教育指導、生活指導に当たっていただいた教員並びに事務職員にも改めて心から感謝と敬意を表するものであります。

さて、一昨年に始まった安倍内閣のアベノミクスによる金融緩和、財政出動、成長戦略などの政策により「経済の持続的成長を持たらす構造改革」が着実に進められ、平成26年は定昇などの賃上げやベースアップも図られ、経済全体に明るい展望が開けようとしております。ご苦労いただいた卒業生の皆さんも、今までと違った社会の変革を受け、その前途には誠に明るいものがあるものと期待を強く持っております。

学校法人福山大学は、「地域、社会で働く中核的人材の育成」をミッションとし、地域、社会に貢献する有為な人材の育成を教育の重要な目標に掲げ、全学で努力してまいりました。

ご承知のように経団連、日経連、商工会議所などの経済団体は、企業等に貢献する人材として、①自分のしっかりした意見を持つこと②仕事がきちんとできること③リーダーシップを取れること④他人とコミュニケーションが取れること⑤課題を自ら見つけ、解決できる力のある人材であること⑥奉仕の精神で世のため

人のために尽くすことのできることを、さらに⑦できれば外国語でコミュニケーションが取れる能力のあることなどを強く求めています。グローバル人材の育成という視点からは、外国語ができ、外国人とのコミュニケーションが取れる能力のある人材を求められても、いまの日本の外国語教育の現状では無理があると思っております。しかし、これからのグローバル化や国際化の社会の変革を考えた時、やはり卒業後もこの点を頭に入れ、まさに生涯学習の視点で外国語の学習などに励み、会話能力即ちコミュニケーション能力を一層高めるよう努力してほしいものと考えております。

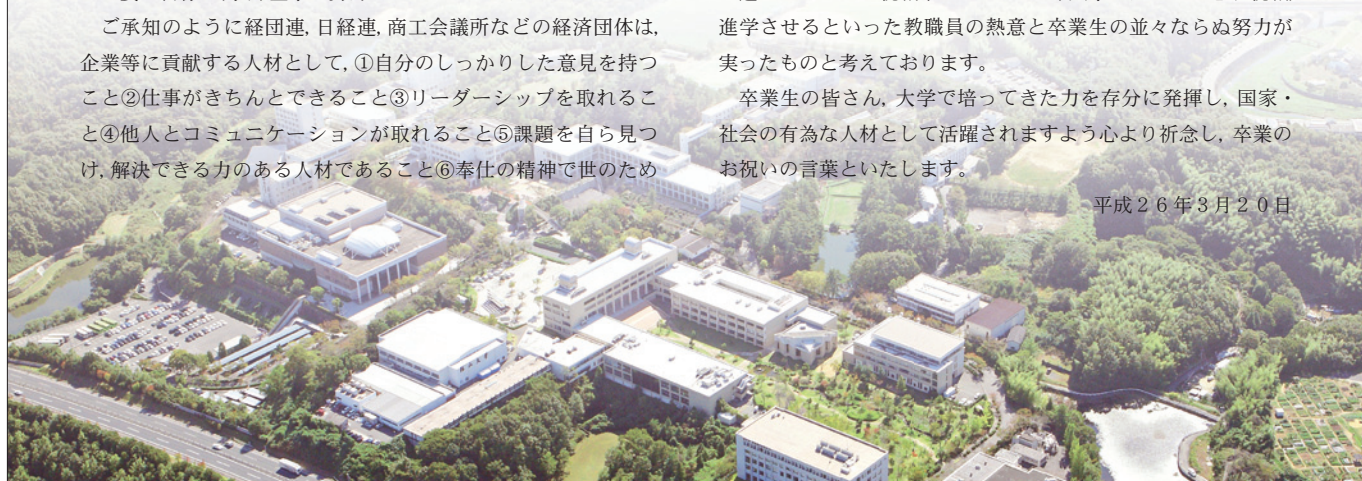
さて、現在の我が国の高等教育は、国立大学86校、公立大学90校(昨年度より1校減)、私立大学606校(昨年度より1校増)の782校が担っております。このうち、私立大学606校は大学全体の77.5%、学生数は全大学生287万人のうち、211万人となっており、高等教育に進む学生の74%が私学に通っており、その責任は誠に大きなものがあり、これを果たすため全教職員は日夜努力しているところであります。

ご承知のように、18才人口は我が国の人口減を反映して、平成になってから4年の205万人をピークに、10年162万人、20年124万人、25年123万人、そして26年には118万人となっており、今後は100万人前後を推移するといった大変厳しい状況にあります。学校法人福山大学としては、このような現状を踏まえ、平成23年に長期ビジョン対策委員会を組織し、①学部・学科の再編②施設・設備の改善充実③入試・広報対策の強化④就職対策の充実⑤地域・社会との連携の強化⑥国際交流の推進などにつき検討し、その提言を受け将来に備える施策を実現することにしております。

幸い、学校法人福山大学の福山大学並びに福山平成大学は、困難な状況の中、志願者も前年より増加するなど明るい展望が開けつつあります。一方、就職についても景気の好転を受け、全国平均を遥かに上回る就職率となっており、入学したものは必ず就職、進学させるといった教職員の熱意と卒業生の並々ならぬ努力が実ったものと考えております。

卒業生の皆さん、大学で培ってきた力を存分に発揮し、国家・社会の有為な人材として活躍されますよう心より祈念し、卒業のお祝いの言葉といたします。

平成26年3月20日



●平成25年度 学生表彰者(卒業生・修了生)

【学長賞】

部 門	学部／研究科	学科／専攻	学年	氏 名
ス ポ ー ツ	経済学部	経済学科	4年	廣藤 耕一
社 会 活 動	人間文化学部	人間文化学科	4年	小野 拓也
学 業	人間文化学部	心理学科	4年	佐藤 衣里子
社 会 活 動	人間文化学部	心理学科	4年	三島 和馬
社 会 活 動	人間文化学部	心理学科	4年	三吉 大暉
文 化	人間文化学部	メディア情報文化学科	4年	李 凌冰
ス ポ ー ツ	生命工学部	海洋生物科学科	4年	関戸 悠貴
学 業	薬学部	薬学科	6年	小野原 彩夏
学 業	薬学部	薬学科	6年	藤井 真実
学 業	人間科学研究科	心理臨床学専攻	2年	張 迪

【奨励賞】

部 門	学部／研究科	学科／専攻	学年	氏 名
文 化	経済学部	国際経済学科	4年	則頭 真紀子
学 業	薬学部	薬学科	6年	山内 茜

※受賞者は、平成26年3月20日(木)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行います。

●平成25年度 学生表彰者(在学生)

【学長賞】

部 門	学部／研究科	学科／専攻	学年	氏 名
社 会 活 動	人間文化学部	心理学科	3年	近藤 志保
文 化	工学部	機械システム工学科		F.S.R
ス ポ ー ツ	薬学部	薬学科	2年	小笠原 菜子

【奨励賞】

部 門	学部／研究科	学科／専攻	学年	氏 名
社 会 活 動	人間科学研究科	心理臨床学専攻	1年	西 侑紀

※表彰式については、平成26年1月15日(水)に行われました。



松田学長 挨拶



松田学長 挨拶



F.S.R 代表者



人間文化学部 心理学科 近藤 志保



F.S.R 代表 宮地 昭滉



人間科学研究科 心理臨床学専攻 西 侑紀



平成25年度 学生表彰者(在学生)

編集後記

2014年2月、ソチ冬季オリンピックでは世界中の選手がそれぞれの競技で熱戦を繰り広げました。練習の成果を十分に発揮できた選手、残念ながら実力が思うように発揮できなかった選手、悲喜こもごもの人間模様もオリンピックの魅力の1つでしょう。福山大学を巣立つ皆さんが、4年間あるいは6年間の学びの成果を十分に発揮し、社会で活躍されることを祈念して編集しました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>